

児童朝会 校長の話 12月20日

今週で2学期も終わりです。そして2週間もしないうちに新しい年を迎えます。新しい年を迎えるための準備や新しい年を迎えたお祝いに、日本では昔からいろいろな風習や行事が行われています。今日はいくつか紹介します。

これは「鏡餅」です。昔の鏡は丸く平たくて、神様が宿ると考えられていました。そこで新しい年の神様に丸くて平たい餅をお供えします。これが鏡餅です。



そして、門には「門松」を置きます。新しい年の神様が通り過ぎないように、ここから入ってくださいと目印に置きます。そして玄関など入り口には「しめ飾り」を飾ります。神様を迎える場所を示します。



そして大晦日には「年越しそば」を食べます。そばは細くて長いので、長く元気に生きられるようにと食べます。お正月を迎えると「お雑煮」を食べますね。昔は12月中にお餅



をついて、神棚にお供えし、正月になるとお供えのお餅と野菜と一緒に煮て食べます。



大晦日から元旦にかけてちょうど0時をまたいで、除夜の鐘を突きます。これは京都の知恩院の写真ですが、15人もの僧侶が突いています。煩惱といって人間には悩みや苦しみが108あ

ると言われています。ですから払う意味で108回突きます。

新しい年を迎えて、お節料理を食べます。お節料理には、一つ一つ「長生きしますように」「元気でいられますように」「福がやってきますように」などと意味があります。



1月1日の夜、2日にかけてみる夢が「初夢」です。枕の下に「宝船」の絵を敷いて寝る



とよい夢を見られると言われています。そこには「なかきよの とおのねふりの みなめさめ なみのりふねの おとのよきかな」と書いてあります。これは回文と言って、初めから読んでも終わりから読んでも同じ文です。

そして、1月2日に筆で書くのが「書き初め」です。新しい年の初めに、1年の目標を書きます。寺子屋で子供たちが書き初めをしています。皆さんも冬休みの宿題で書くでしょう。心を込めて書けるといいですね。



あとわずかで今年も終わりです。身の回りの整理や大掃除をして、みんなでいい年を迎えましょう。